

令和5年度「木材利用提案コンクール」応募者一覧

賞	作品番号	作品タイトル	応募者氏名	審査委員会での主な意見等	学校名
最優秀賞	6	『循環』こども園	佐々木 悠翔	ポスターの内容が特に充実しており、いろいろな要求に対して記載されていたことが高く評価された。 木材をふんだんに使った提案であり、木のボリューム感が感じられた。	秋田県立大学
優秀賞	1	アソビバ～木育の拠点～	浅野 陽菜	「木育は子供のみならず、大人も含まれる」の記載にインパクトがあった。 各ブースとも、木に触れ合い・木に学び・木と生きるをテーマに考えられており、このような施設が実現すれば、子どもや親子で楽しめると思われる。	秋田県立大学
優秀賞	4	木の学びの館	嘉瀬 夏輝	体験して学習できるということで、幅広い年代を対象にしている施設である。 建物本体及び内装など、木材がふんだんに使われ、こちらも木のボリューム感が感じられた。 活動内容の記載が若干、パースに不足していた感があったので、その辺を工夫すればさらに上の受賞となったのでは。	秋田県立大学
特別賞	10	木電車を利用した秋田の魅力運び	村山 幸翼	木材の新しい使い方やデザインの発想などが評価された。 実現したら非常に面白いと思われる提案であった。 電車の仕様や見せ方・コースなどの説明がもう少しあれば、さらに上位に行けるのでは。	秋田県立大学
佳作	2	共生の芽吹き ～林業との繋がりをつくる場所～	有森 唯織	場所の設定（おもちゃ美術館隣）など、他の施設との連続性が良い。	秋田県立大学
佳作	11	せせら木パーク	餅田 郁弥	全国の河川敷がこのような形で利用されれば、木材利用に拍車がかかると思われる。	秋田県立大学
佳作	13	少しの木とリラックス	芳野 了誠	木材を活用して、あえて何もしない、リラックスや癒やしを提案する施設という発想が良い。	秋田県立大学